

NetVault Support Info

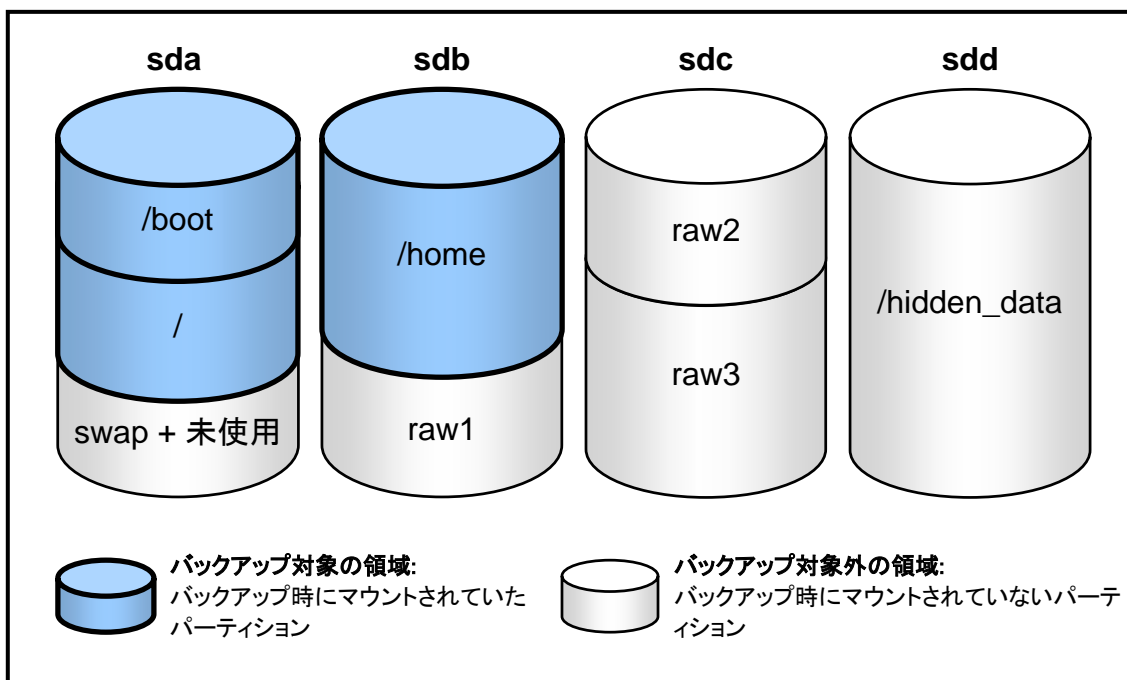


VaultDR Online for Linux プラグインによるディザスタ・リカバリ時に 初期化されるディスクに関する注意事項

1. ディザスタ・リカバリ時に初期化されるディスクについて

VaultDR Online for Linux は、ディスクの初期化 (パーティションの再作成) を行ってから、バックアップ・データのリストアを行います。ディスクの初期化を行う前に対象となるディスクの一覧が表示され確認を求められますが、VaultDR Online for Linux を使ってデータがバックアップされているかどうかに関係なくバックアップ時に認識されていたディスクは全て初期化の対象となります。

以下の構成例では、バックアップ時にマウントされていなかったパーティション raw1、ディスク sdc と sdd はバックアップの対象外です。しかしながら、ディザスタ・リカバリ時に全てのディスクが初期化されるためバックアップ対象外の raw1、ディスク sdc、sdd のデータも失われます。

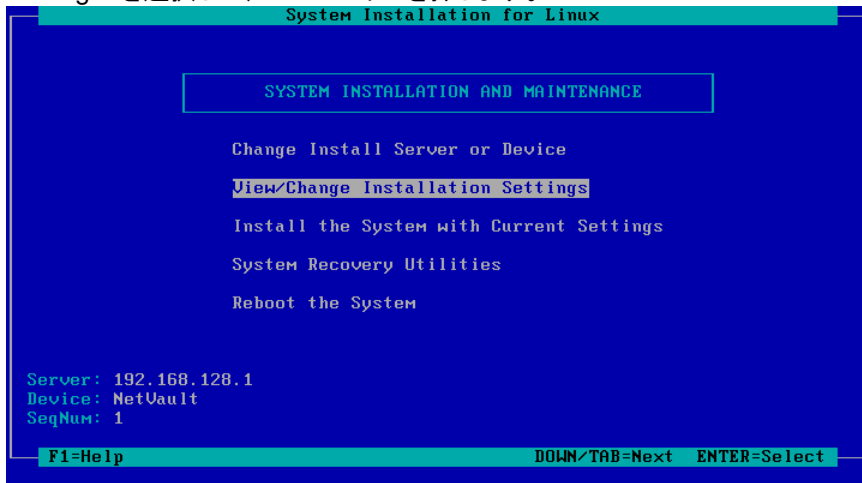


2. ディザスタ・リカバリ時にディスクを初期化の対象外にする手順

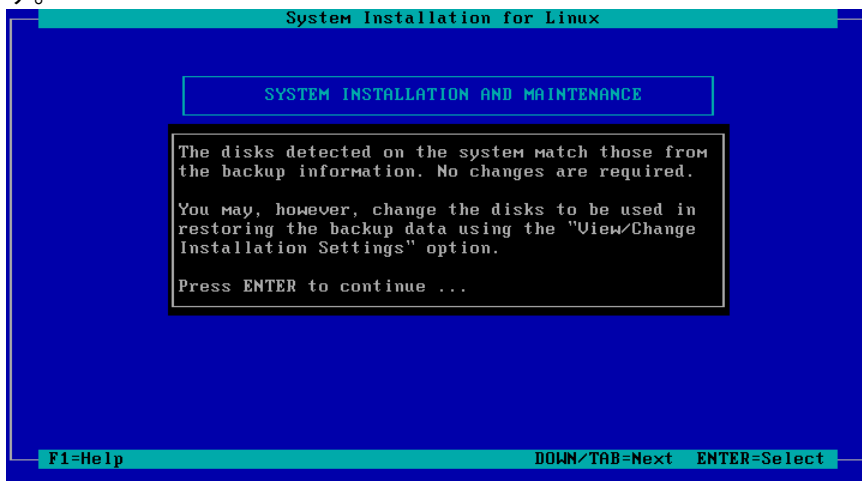
ディザスタ・リカバリ時に raw1 内のデータは失われるため、ディザスタ・リカバリ後にバックアップ・データをリストアする必要がありますが、ディスク sdc、sdd は、以下の手順でディザスタ・リカバリ時に初期化の対象外とすることができます。

手順 1. NetVault サーバでリカバリ・ジョブを設定して起動します。

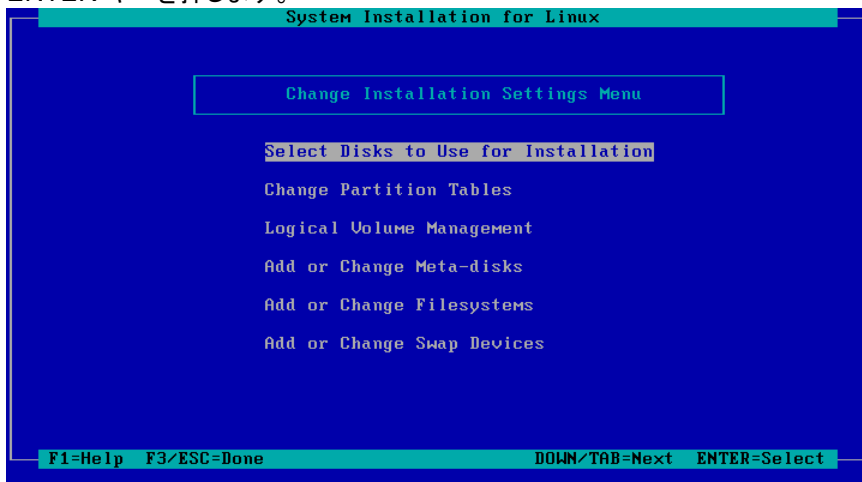
- 手順 2. Linux DR クライアントを起動します。
- 手順 3. “Change Install Server or Device” を選択してネットワークの設定を行います。本設定手順に関しては VaultDR Online for Linux のマニュアルを参照ください。
- 手順 4. SYSTEM INSTALLATION AND MAINTENANCE 画面にて "View/Change Installation Settings" を選択して、ENTER キーを押します。



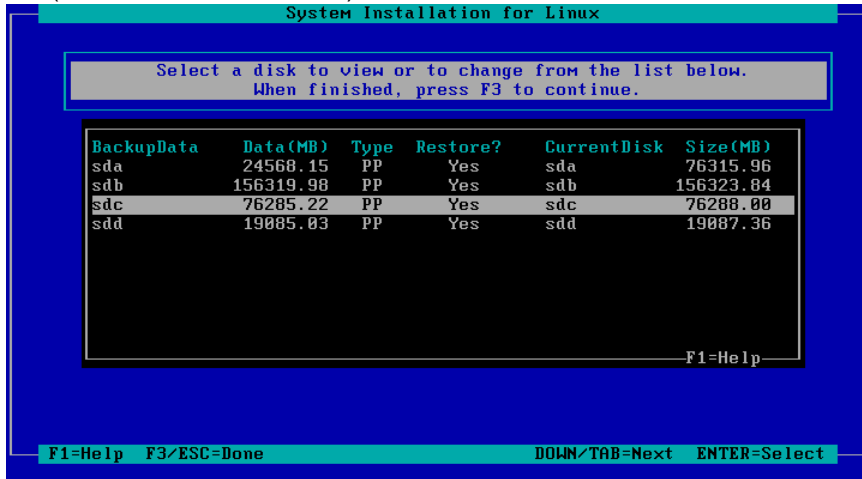
- 手順 5. いくつかメッセージが表示された後に下記のメッセージが表示されますので ENTER キーを押します。



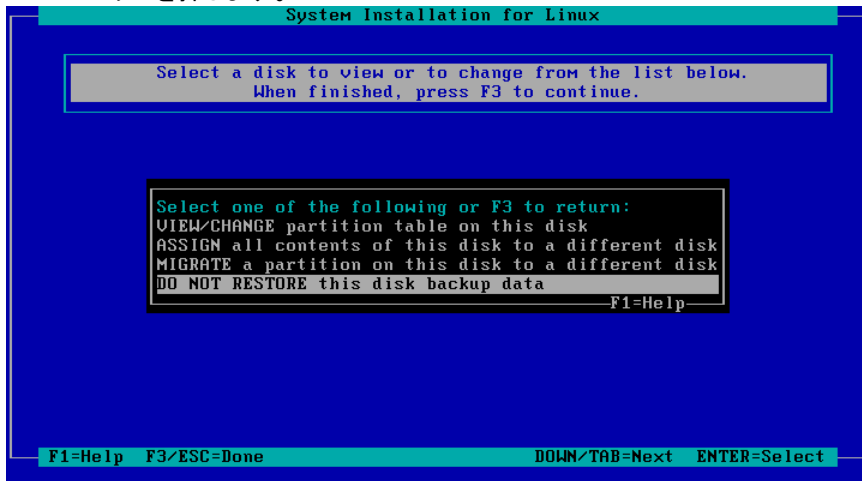
- 手順 6. Change Installation Settings Menu にて "Select Disks to Use for Installation" を選択して、ENTER キーを押します。



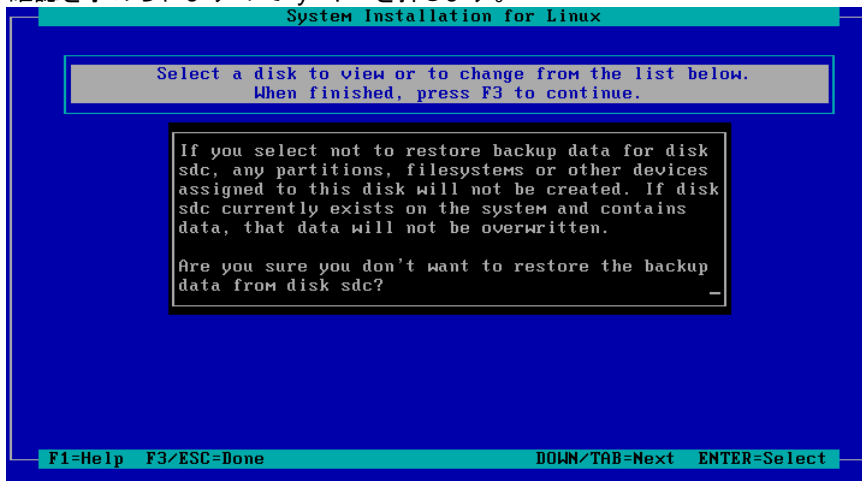
- 手順 7. ディスク一覧が表示されますのでリストア時に初期化しないディスクを選択して、ENTER キーを押します。(以下の図では sdc を選択)



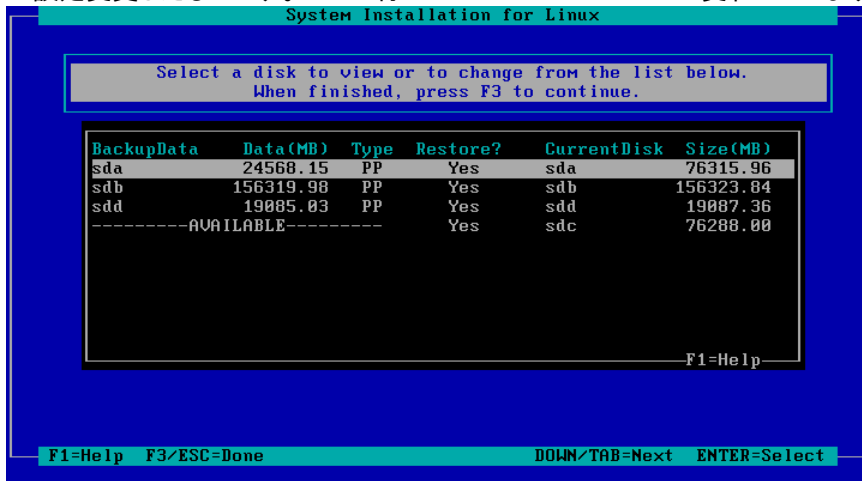
- 手順 8. 以下の選択画面が出てきますので "DO NOT RESTORE this disk backup data" を選択して、ENTER キーを押します。



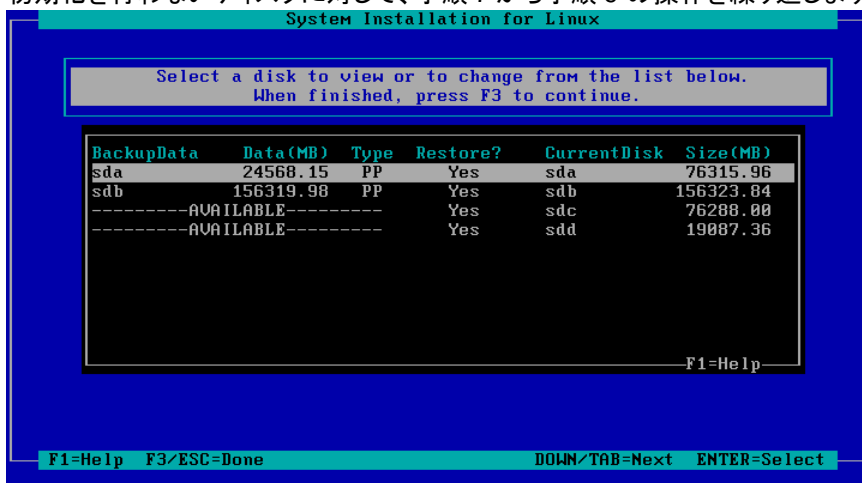
- 手順 9. 確認を求められますので 'y' キーを押します。



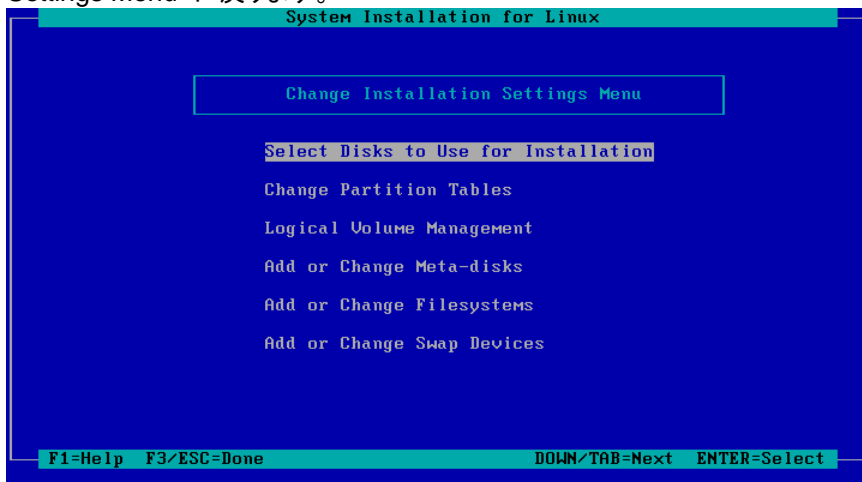
- 手順 9. 設定が変更されるとディスク一覧の情報が更新されます。以下の画面は sdc を初期化しないように設定変更したものです。sdc の行が “----AVAILABLE----“ に変わっています。



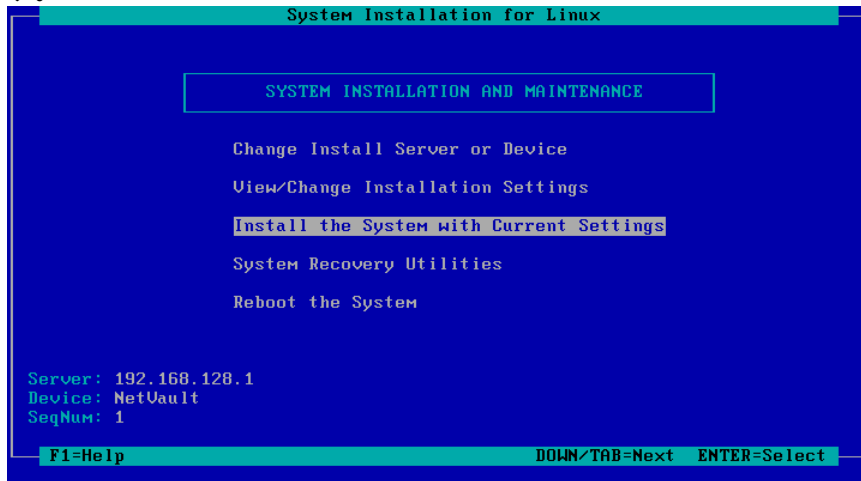
- 手順 10. 初期化を行わないディスクに対して、手順 7 から手順 9 の操作を繰り返します。



- 手順 11. 初期化を行わないディスクに対して設定を行ったら、F3/ESC キーを押して “Change Installation Settings Menu” に戻ります。



- 手順 12. 再度 F3/ESC キーを押して "SYSTEM INSTALLATION AND MAINTENANCE" 画面に戻ります。



- 手順 13. リストアを実行します。リストア時の初期化対象になっているディスクに、バックアップされていないディスクが含まれていないことを確認してください。以下の画面ではディスク sda と sdb が初期化されます。

